

ふれあい



発行所：鳥取県人権教育推進協議会（県人教）
〒680-0846 鳥取市扇町21 県立人権ひろば21ふらっと内
電話：0857(22)0578 FAX：0857(22)0593
発行者 岡崎 周治

2017年度「市町村人権教育行政担当者会」(県人教主催)

2018年2月27日(火) 開催

倉吉体育文化会館 中研修室

県人教主催による「市町村人権教育行政担当者会」を、16市町村の人権教育行政職員・人権教育推進員など24名の参加者のもとに行いました。鳥取市の活動報告を受けた後、4グループに分かれて意見・情報交換を行いました。その内容をお知らせします。

【 報 告 】

「鳥取市地区人権啓発推進協議会連合会の活動について」

鳥取市地区人権啓発推進協議会連合会事務局

山根 博之 さん



1 組織の概要

<目的>「各地区同推協等との連携を図り、同和問題をはじめとするさまざまな人権課題の解決をめざし、人権を尊重した明るいまちづくりを推進すること」2009年、組織の名称及び目的を現在のものに変更。連合会は現在、10ブロック52地区同推協等によって組織。各ブロックから1名の理事を選出し、年6回の理事会を開催。各ブロックの事業が円滑に行われるよう情報の共有化を図っている。地区人権啓発推進員を各地区4名、任期2年で委嘱。

2 連合会主催の研修会

連合会では、会長、推進員の方々に各地域で積極的に人権教育・啓発を推進していただけるよう、推進員研修会などの研修機会を提供し、指導者養成に向けた取り組みを行っている。

<地区同推協等会長研修会(年1回)>

<地区人権啓発推進員研修会>

○必須研修・・・全体研修(年2回)

○選択研修・・・人権とっとり講座、男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」啓発講座等

3 全国集会及びその他の研修会への参加

＜全国集会＞各集会5名の派遣

○部落解放・人権西日本夏期講座 ○部落解放研究全国集会

○全国人権・同和教育研究大会 ○人権啓発研究集会

＜県内＞人権尊重社会を実現する鳥取市民集会：各地区同推協等から3～4名参加

人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会：各地区同推協等から2名参加

4 各地区及びブロックごとの活動

＜ブロック＞○全体研修会 ○会長研修会（会長会） ○推進員研修会（任意開催）

＜各地区＞○小地域懇談会 ○役員・推進員研修会 ○総会・研修会 ○視察研修（県内外）

5 小地域懇談会

小地域懇談会は、各地区同推協等の活動の中でも重きが置かれている取り組みのひとつ。その内容は、集落単位を基本に主に夜間の1時間から1時間半、他者の人権を侵さず、また自分の人権を守るための学習の機会として、集落の公民館等で開催されている。近隣の集落との合同開催や、隔年で開催されている集落もあり、それぞれの地域の実態に合わせて工夫しながら開催している。

＜28年度の実績より＞

○ビデオ・DVD視聴後グループ討議

「ここから歩きはじめる」（認知症とともに生きる）「明治維新と賤民廃止令」（同和（部落）問題）「老いを生きる」（高齢者の人権）「あなたに伝えたいこと」（同和（部落）問題）「今日もよか天気たい」（障がい者の人権）

○参加型学習

「あなたは許せますか、許せませんか」（事例カードを使った参加型学習）

「まちづくりは人づくり」（ワークシートを使用した参加型学習）

○テーマを設定して話し合い

「子どもの人権について」「身近な人権について」「認知症、介護について」

「地域の見守りにについて」「町内会のあり方について」

○その他

「認知症サポーター養成講座」「講演会」

【グループ別協議】

各市町村で実施される人権啓発に関する各種研修会や研究集会、小地域懇談会等の参加者の減少、固定化、高齢化等の課題解決に向けて、さまざまな工夫や努力がされており、情報交換の中で共有することができました。事前の調査の中にも、人権啓発に関する役職があて職であり、主体的な活動が難しい状況が見られるという記述がありました。関係者の皆様の協力の下で、このような状況を打破していくための方策を模索していきたいと思えます。そのために、この会が少しでもお役に立てればと思います。おいそがしい時期に、ご協力、ご参加いただいた方々、ありがとうございました。



「2017年度 差別事件・人権確立をめざす鳥取県民集会」開催される

3月11日（日）部落解放同盟鳥取県連合会主催（後援：部落解放鳥取県共闘会議・鳥取県人権教育推進協議会）により、北条農村環境改善センターで行われました。村上成人県連委員長の挨拶の後、2017年度鳥取県内で発生した「インターネットにおける差別書き込み事件」「不動産業者における同和地区問い合わせ事件」等、計5件の差別事件が報告されました。その後、長尾敏正琴浦町教育委員会人権・同和教育課長から、差別事件を受けての琴浦町の取組についての報告がありました。これらの事件を通して、社会の中に今なお根強い差別意識が存在していることがみえてきたこと、また、差別を差別としてとらえきれず差別をしている事件が後を絶たないこと、逆に、差別であるとわかっていながら差別をしている確信犯的事件が増えていることも報告されました。その後の講演会と合わせ、差別の現実から学び、差別をなくす取り組みをさらに進めていかななくてはならないという思いを強くした集会でした。

☆第43回 部落解放・人権西日本夏期講座☆

期日 2018年6月28日（木）29日（金）

会場 米子コンベンションセンター 米子市公会堂

<全人教主催>

- | | | |
|-------------------------|------------------|---------|
| ◇第70回全国人権・同和教育研究大会 | 11月17日（土）～18日（日） | 滋賀県大津市他 |
| ◇教育課題別研究会「創る つながる 切り拓く」 | 7月28日（土） | 岡山県倉敷市 |
| ◇「豊かな人権教育の創造」実践交流会 | 7月31日（火） | 香川県高松市 |

<全人教後援>

- | | | |
|----------------------|--------------------|--------|
| ・部落解放第63回全国女性集会 | 5月12日（土）～13日（日） | 和歌山市 |
| ・第65回四国地区人権教育研究大会 | 7月5日（木）～6日（金） | 香川県高松市 |
| ・部落解放第62回全国青年集会 | 8月18日（土）～19日（日） | 神戸市 |
| ・部落解放第50回全国高校生集会 | 8月18日（土）～19日（日） | 神戸市 |
| ・第45回九州地区人権・同和教育夏期講座 | 8月20日（月）～21日（火） | 大分県別府市 |
| ・第36回阪奈地区人権・同和教育研究大会 | 9月14日（金） | 大阪市 |
| ・第41回全国人権保育研究集会 | 9月23日（日）～24日（月） | さいたま市 |
| ・部落解放研究第52回全国集会 | 11月27日（火）～29日（木） | 岡山市 |
| ・第33回人権啓発研究集会 | 2019年2月6日（水）～7日（木） | 新潟市 |

◎第43回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会◎

～人権尊重社会の実現に向けて、研究と実践を交流しよう～

期日 2018年 8月8日（水）

全体会場 県立とりぎん文化会館梨花ホール

分科会場 県立とりぎん文化会館（梨花ホール、小ホール、研修室1・2）
県庁講堂、県立図書館研修室、鳥取市民会館大ホール
福祉文化会館研修室（3、4階）

◇第43回 米子市人権・同和教育研究集会◇

日時 2018年1月18日(木) 9:00～16:20 (第4分科会<PTA>19:00～21:30)



<全体会>



<意見発表>

今年で43回目を迎える米子市の人権・同和教育研究集会。平日の1日開催です。全体会では主催者・来賓挨拶、基調提案が行われ、その後、高校生とPTAの方による意見発表がありました。社会問題研究部に属する高校生の発表は、米子市に残る戦争遺産の調査や、福山市にある「ホロコースト記念館」を見学した感想、西部地区リーダー研修の報告等でした。発表内容もさることながら、「人としてより良く成長するため。」「きらきらと輝く生き生きとした人になるため。」という社会問題研究部の活動理由が印象的でした。目的意識をしっかりと持った活動は確実に成果が上がることを実感しました。また、東山中学校PTAの新宮美津代さんは、「母として、大人として、人として～心に問う瞬間(とき)～」と題して、県外から米子市に転居してからの部落問題との出会い、さらに生後4か月の子どもさんを失ったこと等の経験から、人権の大切さや命の大切さを訴えられ、聞く人の心を打ちました。

講演会の講師は元フリーアナウンサーの道志(どうし)真弓さんです。不妊治療の末、やっと授かった娘さんは世界で数十例の染色体異常と診断され、8歳で亡くなります。歩くことも話すこともできなかったのですが、娘さんを囲んでの生活は亡くなる直前まで笑顔の絶えない毎日でした。その、娘さんを囲んでの生活の様子や気持ちを話されました。お話を聞きながら、命の重さや感謝の心、生きることの素晴らしさを感じずにはいられない、素晴らしい講演でした。

午後からは、7会場に分かれて分科会です。「就学前・学校教育」分野の分科会に参加しました。尚徳中学校区の人権教育を柱とした小中連携の取組の発表でした。中学校区全体での取組、各学校での取組の様子が分かりやすく発表されました。中学校区での人権教育は、各学年で障がい者、性的マイノリティ、部落差別、結婚差別、ハンセン病等の人権問題が系統的に計画され、しっかりと人権教育が行われていました。先生方自身も、各種の研修会に参加されて人権意識を高めておられ、先生方の熱い思いが伝わってきました。中学校区でこれだけの取組が行われるためには、小中の緊密な連携もあることを確信しました。

第4分科会はPTAの分科会ですが、これまでの研究集会の参加者の意見を取り入れ、午後7時からの開催になっていました。後日お聞きしたところ、参加者数が前年度の約1.4倍になったそうです。運営に関するさまざまな工夫の成果であると感じました。

多くの参加者と、熱気あふれる分科会での討議で、終日にわたり充実した研究集会でした。

県人教からのお知らせ

「人権問題学習 その実践」No.26 を発刊しました。第69回全人教大会(島根大会)での鳥取県関係の発表内容、県人教主催「実践交流会」等の内容を掲載しております。県人教だより「ふれあい」と共に、ご高覧いただければ幸いです。